

芦屋港 上屋の活用について

1. 上屋の現状について
2. 上屋の活用の方向性について
3. 上屋への導入機能例（リノベーション）

平成30年9月27日

1. 上屋の現状について

- 建築 昭和63年竣工
- 構造 R C（鉄筋コンクリート造） 2階建
- 規模 幅約65m
奥行約33.7m
高さ約7.8m
床面積約1,895㎡
- 事業費 169,411千円



- 使用に際しては、福岡県
条例に基づき所定の手続
きを行ったうえ、条例に基づ
く使用料を納付しないとい
けない。
- 現在 1 事業者が継続的
に使用中。使用目的は、
カレット、珪砂の保管。



1. 上屋の現状について



2. 上屋の活用の方向性について

上屋の現地調査を踏まえて、芦屋港活性化への上屋の活用について検討。
 (現在の利用がなくなったことを前提条件とする)

	活用（リノベーション）	解体
国の動向	社会資本の活用、長寿命化の観点から、リノベーションによる用途変更での活用を推進。	耐用年数（70年）などから、まだ活用できる社会資本と捉えているため、解体はハードルが高い。
用途	複合施設 （冬季や悪天候でも対応できる空間活用）	新たな資本投入による新施設の整備
メリット	①施設整備に掛かる費用を抑えることができる。 ②早期の整備が可能。	①用途に応じた施設（規模や配置、デザイン）を整備することができる。
課題	①施設規模が限られているため、活用できる用途が限定される。	①解体⇒施設整備と、時間と費用が掛かる。 ②解体について理由や根拠が必要。
方向性		

3. 1号上屋への導入機能例（リノベーション）

◆ 1号上屋を活用（リノベーション）した際に、想定される導入機能

- ・サイクルステーション（例：当資料 P 6）
- ・屋内の子どもの遊び場（例：当資料 P 7）
- ・カフェ・ショップ・イベントスペースなどの交流施設（例：当資料 P 8）
- ・その他（例：参考1 P 3～9）

3. 1号上屋への導入機能例（リノベーション）

ONOMICHI U2（広島県尾道市）のサイクルステーション



U2内のホテルは自転車に乗ったままチェックインできる



自分の自転車を壁にかけて眠れる



自転車に乗ったまま購入できる、サイクルスルーカウンターを導入



自転車のプロショップ「ジャイアントストア尾道」が入っている。



レンタサイクルは、ジャイアント製。プロスタッフがチューンアップしてくれる。



ONOMICHI U2外観

3. 1号上屋への導入機能例（リノベーション）

屋内の子どもの遊び場



木のプール（諫早市こどもの城）



跳び箱など、走り回れるスペース
（諫早市こどもの城）



屋内砂場（福島市市民会館内屋内遊
び場「さんどパーク」）



巨大円形ネット遊具「スペースあすれちっく」
（ギャラクシティ、足立区）



クライミングウォール「がんばるウォール」
（ギャラクシティ、足立区）



子どもが遊び、親がくつろげるカフェ
（大阪市もりのみやキューズモールBASE）

3. 1号上屋への導入機能例（リノベーション）

カフェ・ショップ・イベントスペースなどの交流施設



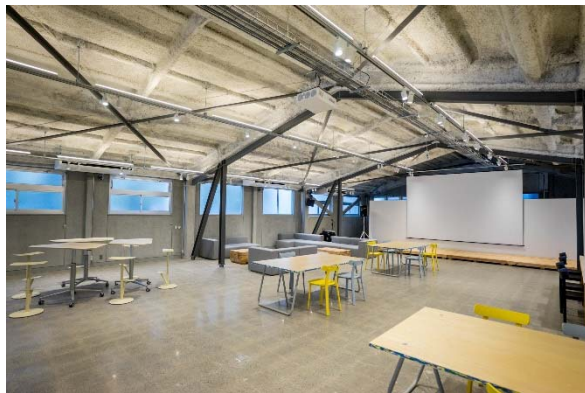
海を眺めるカフェスペース（佐世保港）



カフェメニューはテイクアウトでき、屋外で食べることができる（南池袋公園）



洗練されたデザインの釣具店（横浜市の釣具店nobite）



ワークショップやイベントなどに活用できる多目的なスペース（渋谷100banch）



新事業の創出や創業を支援するインキュベーション機能（渋谷100banch）



キッチンを備えたイベントスペース（Shareplace Gyoutoku）